

## 2018 年度活動報告 CJP 授業：調査・報告6

中岡 樹里（関西学院大学日本語教育センター）

西村 由美（関西学院大学日本語教育センター）

### 1. クラス概要

本授業は、上級レベルの学習者を対象とした、週 2 コマ全 28 回のクラスである。身近な社会問題をテーマにレポートを執筆することを通し、これまでに学んだ言語知識を総合的に使いながら、さらに日本語力を伸ばすことを目的としている。授業では、1) 資料収集とインタビュー調査、2) 1) の結果をもとにしたレポートの執筆、3) レポートに対する相互コメント、4) 発表、を行った。また、レポート執筆過程での考えを整理し、コメントを受けて内容を深めることを目的として、テーマ発表、インタビューの結果発表を行い、学期末には成果発表として最終発表を行った。教科書はなく、構成や内容の参考として見本レポートをはじめとする資料を配布した。

### 2. 授業内容

本授業で執筆するレポートの構成は、前半が文献調査、後半がインタビュー調査とその結果の分析・考察である。第 1～7 回では、テーマ設定および文献調査のために、web データベースで新聞記事・論文などを収集する方法を学び、図書館での文献収集も行った。テーマ発表での議論を経て、テーマを絞り込んだ。第 8～20 回では、週 2 コマのうち 1 コマで資料整理、アウトライン作成および序論～本論前半の執筆を、1 コマでインタビュー調査の準備と実施（3 回）を行った。レポート執筆は、各部分の第一稿に対してクラスでの相互コメントを行い、その後教師からのフィードバックを受けるといった流れで行った。インタビュー調査は、日本人 LA 参加の下、質問項目の作成・検討、インタビュー練習を行い、得たコメントから質問項目や順番、話し方などを改善した。毎回のインタビュー実施後は、書き起こしをもとに授業でフィードバックと振り返りを行い、次のインタビューの改善へとつなげた。第 21～28 回では、本論後半の執筆とレポート全体の完成作業、最終発表を行った。

### 3. 成果と今後の課題

授業に対する学生の評価は概ね良かったが、現状では発表の仕方や資料作成の指導に時間を割くことができていない。発表でコメントを受けてレポートの内容を深めるためには、分かりやすく聞き手に伝えることが求められる。発表時、資料作成時に参考になる資料を紹介するなど、何らかの形で触れる機会を提供することを検討したい。